土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　その他河川　ハタガミ川　通常砂防事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 構造物基礎

ボーリング名	Bor.No.2	**調査位置**	広島県江田島市江田島町鷲部一丁目			**北緯**	34° 13′ 44.6″
発注機関	広島県西部建設事務所　工務第一課			**調査期間**	2022年 11月 10日 ～ 2022年 11月 25日	**東経**	132° 29′ 1.8″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 95.31m	**角度**	180°（上下）90°　0°	**方位**	北 0°　270° 西　90° 東　180° 南	**地盤勾配**	水平0°　鉛直 90°29.9°
総削孔長	8.00m	**使用機種**	東邦 D1-B型	**エンジン**	ヤンマー　NFD-13	**ポンプ**	東邦　BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	94.71	0.60		砂		淡褐				パウダー状の細砂を主体とする。	11/10 0.60
	94.31	1.00		玉石		灰				花崗岩由来の硬質な玉石。	
1	93.61	1.70		砂		褐	rd1			細～中砂主体で細粒分を少し混入する。	
2	92.31	3.00		花崗岩		褐				花崗岩の強風化帯。 岩組織を僅かに残すものの、指圧でマサ土状となる。 岩級区分はDM級。	
3				花崗岩		褐				花崗岩の風化帯。 GL-5.00mまで、岩組織を僅かに残すのみで、ハンマー打撃で土砂～礫状に崩れる。 以深、棒状コアで採取されるが、コア肌はザラザラしており、指圧で結晶の粒子が剥がれる状況である。 ハンマー打撃で岩片～短柱状に崩れる。 深度増すにつれ、硬質となる。 DH級。	11/14 4.56
4											
5											
6											
7	88.51	6.80		花崗岩		灰褐				花崗岩の弱風化帯。 棒状コアで採取されるが、一部風化により礫～岩片状となる。 コア肌は滑らかな箇所とザラザラしている箇所がある。 CL級。	11/25 7.12
8	87.31	8.00									
9											

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
2	1.15	1/150	1/150		2/300		
	1.45						
16	2.15	4	5	7	16/300		
	2.45						
68	3.15	16	22	12/20	50/220	220	
	3.37						
88	4.00	18	32/70		50/170	170	
	4.17						
125	5.00	25	25/20		50/120	120	
	5.12						
250	6.00	50/60			50/60	60	
	6.66						
	7.00	50/0			50/0		
	7.00						
	8.00	50/0			50/0		
	8.00						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					11/10
					11/11
					11/14